

図書館だより（千葉点字図書館）

2025 年(令和 7 年)9 月号（通巻第 470 号）

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
視覚障害者総合支援センターちば

千葉点字図書館

〒284 - 0005 千葉県四街道市四街道 1 丁目 9 番 3 号

電話：043-424-2588

E-Mail（貸出）：kasidasi@tisikyo.jp

目 次

1. お知らせ

- ・センター休館日
- ・SDカードダウンロードサービスのご案内
- ・SDカード貸出サービスのご案内
- ・購入雑誌のご案内
- ・自館製作雑誌のご案内
- ・他館製作雑誌貸出のご案内
- ・寄贈資料のご案内

2. 新入図書の紹介

3. おすすめ図書の紹介

4. 墨字図書出版情報（千葉日報 2025.8.11）

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

5. ニュース・新聞記事から

- ・仏像に触れて目の見えぬ人も（朝日新聞 2025.3.28）
- ・失明の原因 定期検査を（千葉日報 2025.3.16）

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

6. 地域情報

- ・ハザードマップを確認していざというときに備えよう

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

1. お知らせ

センター休館日

9月の休館日は次のとおりです。

- 5日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）
- 19日（金） 職員会議のため13時30分以降休館

SDカードダウンロードサービスのご案内

当センターでは、SD カードにお好きな音声デジータデータをダウンロードするサービスを行っています。ご希望の方は、当館宛にSD カードを郵送し、メールまたは電話にてご希望の図書をご連絡ください。SD カードの容量とは関係なく1枚につき5タイトルまでのダウンロードとなりますのでご了承ください。

●利用対象：SD カードで再生する機器、またはパソコンをお持ちの方。

●貸出方法：SD カードダウンロードサービスをご希望の方は、来館・電話・メール・手紙のいずれかでお申込みください。

●連絡先：電話 043-424-2588 メール kasidasi@tisikyo.jp

何かご不明な点がございましたら、貸出担当までお問い合わせください。

SDカード貸出サービスのご案内

当センターでは、音声デジータデータを収録したSDカードの貸出サービスを、3カ月ごとに内容を入れ替える形で、年4回（6月、9月、12月、3月）実施しています。貸出をご希望の方には、点字用郵便として郵送袋に入れてお送りします。マイクロSDは取り扱いがございませんが、ご自身のマイクロSDを送付いただければ今回の内容をダウンロードいたします。また、今回の内容のうち、気になるものだけデジータ図書で聞きたいという方は、他館から取り寄せして送付いたしますので、お気軽にご連絡ください。

今回は、大河ドラマや朝の連続テレビ小説のモデルとなった人物に関連した図書から選びました。

●収録されている図書は次のとおりです。

※書名、著者名、録音時間、内容の順です。

① ^{ういじん}初陣は17歳！歴史は年齢で見るから面白い！（ミスター武士道 著）（3:49）

〔家康は、実は独立を果たすために凄いがんばった人だった！現存する家康の書状や、近年の歴史研究をもとに、家康の書いた日記という形で、天下人・徳川家康が何を考え、どのようにして戦国時代を生き抜いたかを考察する。〕

② ^{いたの ひろゆき}紫式部が描いた18の愛のかたち（板野 博行 著）（5:22）

〔好きだからこそ深入りしない空蟬、^{うつせみ}「ロミオとジュリエット」のような大恋愛をする^{おぼろづきよ}朧月夜…。『源氏物語』の登場人物の中から魅力的な18人の女性の生き方に焦点を当て、彼女たちの真実の愛に生きる姿に迫る。〕

③ ^{つた やじゅうざぶろう}蔦屋重三郎 江戸を編集した男（田中 優子 著）（9:05）

〔数多くの^{しやれぼん}洒落本、^{きびょうし}黄表紙、^{きょうか}狂歌を世に出し、^{うたまる}歌麿、^{しやらく}写楽を売り出した蔦屋重三郎。その人脈は、^{さんとうきょうでん}山東京伝、^{かつしかほくさい}市川団十郎、^{きょくていぼきん}葛飾北斎、^{きょくていぼきん}曲亭馬琴とまさに江戸文化そのもの。人を編集し、文化を織り上げた、蔦屋の「たくらみ」に迫る。〕

④ 志 ^{こころざし} 豊臣秀長伝 (福永 英樹 著) (8:15)

〔長い乱世に終わりを告げた矢先に、朝鮮出兵を目論む秀吉。欲望のまま権力をふるうその姿を見た秀長は、死の床から遺言を残す。兄、秀吉を殺してでも、真に平和な世を築くために…。豊臣秀長の生涯を描く歴史小説。〕

⑤ 罪なくして斬らる ^{おぐりこうずけのすけ} 小栗上野介 (大島 昌宏 著) (10:12)

〔小栗上野介の半生を描いた小説で、彼の功績と悲劇を通じて幕末の日本の近代化への影響を探る物語。〕

⑥ 裁判官 ^{みぶちよしこ} 三淵嘉子の生涯 (伊多波 ^{いたば} 碧 ^{みどり} 著) (5:58)

〔大学卒業後、日本初の女性弁護士となるが、戦争ですべてを失い、34歳で裁判官に就任。各地の家庭裁判所で社会的弱者に目を向け、精力的に活動した…。逞しくしなやかに生きた女性法曹の先駆者・三淵嘉子の生涯を描く。〕

⑦ 絶望の隣は希望です！ (やなせ たかし 著) (5:42)

〔哀しみに負けそうなときは、手のひらを太陽に透かしてみよう！東日本大震災で傷つき、大切なものを失ったすべての日本人へ贈る、アンパンマンの父・やなせたかしの魂のメッセージ。〕

⑧ 思ひ出の記 (小泉 節子 著) (2:05)

〔小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) の怪談作品の語り部であり、その再話文学創作の最大の功労者でもある妻・節子が、夫の没後、ともに過ごした13年余りの日々を回想した記録。〕

⑨ 明治のナイチンゲール ^{おおぜきちか} 大関和物語 (田中 ひかる 著) (11:10)

〔看護婦が「^{せんぎょう}賤業」とされた明治時代、女性の経済的自立を目指し、職業看護婦の道を切り拓いた女性たちがいた。この賤業に就き、生涯をかけて看護婦の技能の向上と制度化に努めた大関和と、彼女を支え続けた ^{すずきまさ} 鈴木雅の物語。〕

⑩ 幸福を知る才能 (宇野 千代 著) (5:55)

〔幸福とは・・・天性の明るさを持ち、前向きに生きた筆者が語る幸福論。〕

購入雑誌のご案内

現在当館では、次の点字、デイジー雑誌を購入しています。

点字

- ・鍼灸の世界 年12回発行 東洋医学、西洋医学、ニューメディアなどに関連する記事を掲載。
- ・旅 年6回発行 京都ライトハウス製作の旅の魅力を伝える情報やエッセイを掲載。
- ・テルミ 年6回発行 視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本。墨字併記。
- ・点字ジャーナル 年12回発行 医療や福祉の情報の他、スポーツ、旅、グルメ等趣味の話題も掲載。

デイジー

- ・視覚障害 年12回発行 視覚障害に関するテーマ全般。当事者等による特集記事、対談等を掲載。
- ・点字毎日 年25回発行 視覚障がいに関するニュースを取り扱っている。
- ・ライト&ライフ 年12回発行 身近な生活情報を提供。

自館製作雑誌のご案内

当館では、月刊で発行されている「ナショナルジオグラフィック日本版」を点字で、隔月刊で発行されている「小説宝石」を音声デイジーで製作しています。

「ナショナルジオグラフィック日本版」は貸出、「小説宝石」は貸出ではなく差し上げています。

他館製作雑誌貸出のご案内

現在貸出している雑誌（音声デイジー）

週刊：アエラ、サンデー毎日、週刊現代、週刊新潮、週刊文春、週刊ポスト、女性自身、ニューズウィーク、フライデー

隔週刊：オレンジページ

月刊：アイサポートニュース、朝日新聞医学情報、朝日新聞天声人語、栄養と料理、NHK きょうの健康、NHK きょうの料理、NHK 俳句、オール読物、音楽の友、月刊ジャイアンツ、月刊情報誌「読書」、声の食生活情報、さかえ、趣味の園芸、小説新潮、小説すばる、ステレオ、世界、全国点字図書館新刊デイジー図書目録、選択、ダンスビュー、鉄道ピクトリアル、鉄道ファン、東洋経済、トランヴェール、日経サイエンス、日経マネー、ニュートン、ハルメク、PHP、婦人公論、ベースボールマガジン、旅行読売、歴史街道

隔月刊：暮らしの手帖、厚生、フクミミ、理療

寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。

- ・ NPO 法人ロバの会 発行
『ロバさんの万華鏡 (75 号)』 デイジー1 枚
- ・ 東京都盲人福祉協会 発行『点字東京 (342 号)』 1 冊
- ・ ^{にほん}日本視覚障害者団体連合 発行 『^{にっぽん}点字日本 (644 号)』 1 冊
- ・ ^{にっぽん}日本点字図書館 発行 『^{にっぽん}にってんデイジーマガジン (8 月号)』 デイジー1 枚
収録内容：ブックウェブ（視覚障害者や本に関する話題）、文藝春秋、ホームライフ（料理・育児・新製品などの実用記事や、暮らしの情報・話題）、医学研究（健康に役立つ情報、三療に関する記事および大学病院等所属の講師陣による臨床講座を掲載）他。
- ・ ^{にほん}日本盲導犬協会 発行 『盲導犬くらぶ (119 号)』 一般 CD2 枚

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・ 内閣府政府広報室 発行
『点字・大活字広報誌 ふれあいらしんばん (104 号)』 1 冊
『^{あす}明日への声 (104 号)』 一般 CD1 枚
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行
『ワールド・ナウ (62 号)』 点字 1 冊
『点字 厚生 (310 号)』 1 冊

雑誌についてのお問い合わせや貸出を希望される方は貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

2. 新入図書の紹介

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

(点字図書)

<一般書>

- ① かくれ繊細さんの「ぐるぐる思考」からの抜け出し方——仕事、勉強、人間関係から、恋愛、SNS、お金まで… 敏感なあなたが自分の心に振り回されない方法 (時田 ひさ子 著) 2冊
こようさいどう 廣済堂出版 2024年5月
[嫌なことばかりぐるぐる考えてしまうのはなぜ? 人一倍、感受性の強いかくれ繊細さんが日常生活で陥りやすい「ぐるぐる思考」の対処法を、HSS型HSP専門心理カウンセラーが具体的にアドバイスする。]
- ② 津田仙評伝——もう一つの近代化をめざした人 (高崎 宗司 著) 4冊 草風館 2008年3月
[農業の近代化とキリスト教によって民富や国富を増大させようとした、津田仙。近代におけるもうひとつの発展や近隣諸国との相互理解に尽くした津田の業績を見直す。]
- ③ The Songlines (竹沢 うるま 著) 3冊 小学館 2015年2月
[1021日、103カ国。3年をかけて旅した地平線の先。その歩みの道標となったのは、生と死が同居する大地で紡がれた、数々の歌だった…。「大地と人の繋がり」を求めて世界中を訪れた写真家が綴る旅の物語。]
- ④ とにかく優位に立ちたがる人から自分の心を守るコツ (石原 加受子 著) 2冊 三笠書房
2024年7月
[「反応」を変えれば、言いなりになることはない。争わずに、距離を置く…。職場、ご近所、夫婦関係などの、優位に立ちたい人たちからの攻撃から自分を守り、振り回されない28のヒントを紹介する。]
- ⑤ 雇用保険法 3冊 e-Gov法令検索 2023年11月
[労働者の生活及び雇用の安定、就職の促進、労働者の福祉の増進を図ることを目的とした雇用保険制度について定めた法律。令和4年6月17日改正]
- ⑥ 「今どきの若者」のリアル (山田 昌弘 著) 4冊 PHP研究所 2023年11月
[マッチングアプリの功罪、複雑な承認欲求、変容する消費行動…。Z世代の現状とその背景や行動原理を研究者やノンフィクション作家が論考する。]
- ⑦ 自殺対策白書(概要版) 令和5年版 (厚生労働省 編) 4冊 厚生労働省 2023年11月
[自殺の現状、自殺対策の基本的な枠組み、新しい自殺統計原票による自殺動向の分析について述べるとともに、令和4年度の自殺対策の実施状況をまとめる。]

- ⑧ 障害のある女性の困難——複合差別実態調査とその後10年の活動から
ディーピーアイ
 (D P I 女性障害者ネットワーク 編) 4冊 D P I 女性障害者ネットワーク 2023年6月
 [2011年に行なった「障害のある女性の生きにくさに関する調査」の結果を掲載。加えてその後10年間の活動をテーマごとにまとめ、今後への提言を記す。]
- ⑨ 災害対策基本法 3冊 e-Gov法令検索 2024年1月
 [国土並びに国民の生命、身体及び財産を災害から保護し、社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的とした法律。令和4年6月17日改正。]
- ⑩ 自分で考えて動ける子の育て方——「早くして!」「勉強しなさい!」「片づけなさい!」はもう言わない
すごう けい
 (須合 啓 著) 2冊 明日香出版社 2022年10月
 [毎日ガミガミ言わないといけない子育てから卒業しよう!子どもが自分で考えて動けるようになる親の習慣を紹介。親の「意識の持ち方」「言葉のかけ方」「とるべき行動」について、やさしく解説する。]
- ⑪ 背中では語っている——〈からだのことば〉をときほぐす東洋医学 まつなみ
 (松波 太郎 著) 3冊 晶文社
 2024年1月
 [血圧を下げるハリ灸、クスリの代償、後ろ向きに生きるケア…。鍼灸院を運営する臨床家が、「背中」を東洋医学的に読み取り、解きほぐしていく治療本。]
- ⑫ 免疫力アップ!温活ランニング (石原 にいな
 新菜 著) 2冊 主婦の友社 2024年12月
 [万病のもとである「冷え」を改善し、キレイも元気も手に入れよう! 走って体を温める温活ランニングを紹介するほか、運動以外の重要な温活術である入浴・腹巻き・食事についても触れる。]
- ⑬ 私のからだの物語 (森田 敦子 著) 3冊 ワニブックス 2023年11月
 [自分のからだを「自分ごと」として見ていますか?今、女性にとってもっとも大切なのは、複雑な自分のからだや「性」のことについて知り、自分自身を慈しむこと。何歳からでもできる「性の学び直し」。]
- ⑭ 「がんばらない」仕組み——あなたの人生を“快適化”する しもぞの
 (下園 壮太 著) 2冊 三笠書房
 2024年4月
 [「心が疲れない」システムとは。「つい頑張りすぎてしまう」人間のメカニズムを知ることを出発点に、どう心身のケアをしていけばいいのか、どんなふうになれば頑張りすぎを抑制できるのかについて解説。]
- ⑮ 人生で一番素敵な片づけ——50代から味わえる!最高のご褒美 (小野 めぐみ 著) 2冊
 三笠書房 2022年4月
 [「残す物の基準」「執着心を捨てる考え方」「大切な思い出を一生残しておける方法」を確立した、50代からの新しい片づけ法を具体的に伝授する。物の種類別「仕分けのヒント」も収録。]

⑩ 死ぬまでジャズ——鈴木良雄・自伝（鈴木 良雄 著） 3冊 リットーミュージック 2024年1月
〔“ベース歴0年”で国内トップ・ジャズグループへ！？渡辺貞夫らとの共演を経て、自身の音楽とは何かを追求し続けるジャズ・ベーシスト、“チンさん”こと鈴木良雄が、波乱万丈のジャズマン人生を綴った自伝。〕

⑪ 道を拓く——元プロ野球選手の転職（長谷川 晶一 著） 3冊 扶桑社 2024年10月
〔第二の人生をどう選び、いかに生きるのか？元プロ野球選手14人を取り上げ、それぞれのセカンドキャリアを紹介する。〕

<文学書>

⑫ あした死ぬとしたら——今日なにをするか（寺山 修司 著） 2冊 興陽館 2024年11月
〔寺山修司の作品には「死」という言葉が色濃く彩られている。19歳で難病を発症したときから自分が近い将来死ぬことを覚悟し、47歳で死んだ寺山修司の言葉を集める。〕

⑬ 朔が満ちる（窪 美澄 著） 5冊 朝日新聞出版 2024年7月
〔父からの暴力で抑圧された少年期の影に付き纏われながら生きていた史也は、自分と同じ匂いのする女性・梓と出会い、初めて家族に向き合い始め…。苦しみの先にある確かな希望に胸を打たれる長編小説。〕

⑭ 流星さがし（柴田 よしき 著） 4冊 光文社 2023年5月
〔新米弁護士・成瀬歌義は、京都の人権派弁護士の事務所から、東京の大手法律事務所に移籍してきた。ところが、勝手の違うことばかりで熱意は空回り。しかも、持ち込まれる相談も、一風変わったものばかりで…。〕

21 彼女と彼の関係——平凡な早川さんと平凡な三浦くんの非凡な関係（六つ花 えいこ 著） 4冊 KADOKAWA 2023年3月
〔夏帆と拓海は、期限付きで“お試し恋人”になった。気づけば本気で拓海の誠実さに惹かれていく夏帆。でも気持ちを伝えられないでいると、拓海が二人の関係を終わらせたがっていることを知って…。〕

22 ふしぎ遊戯外伝 1 幻狼伝（渡瀬 悠宇 原作、西崎 めぐみ 作） 2冊 小学館 1998年3月
〔山賊の頭候補となった幻狼と功児は、妖怪“髑髏”との戦いに死力を尽くすが…?!〕

23 ふしぎ遊戯外伝 5 朱雀悲伝（渡瀬 悠宇 原作、西崎 めぐみ 作） 3冊 小学館 1999年9月
〔星宿は皇位継承争いの中、孤独な少年時代を過ごし、若くして帝位に就くも母の恐怖政治に苦しむ。その後、国に残った星宿は恋に落ちるが、その背後には生き別れた兄との哀しい愛憎劇が絡んでいた。〕

24 ねじねじ録（藤崎 彩織 著） 2冊 文藝春秋 2024年11月
〔SEKAI NO OWARIの“Saori”でもある著者が、仕事や育児に悩む日々を率直に綴ったエッセイ〕

- 25 灰かぶりはかりそめの妻 (リン・グレアム 作, 藤村 ^{かなみ} 華奈美 訳) 3冊
ハーパーコリンズ・ジャパン 2022年5月

[ギリシアの海運王アリの会社で臨時の受付係として働くクレオ。社員旅行先の湖で溺れていたところをアリに救われ、彼に身も心も捧げてしまう。一夜が明け、身分違いの恋に怯えた彼女は逃げ出すが、彼に意外な頼みごとをされ…。]

<児童書>

- 26 アンティーク ^{フウガ} FUGA 番外編 ^{まかおこつとうたん} 澳門骨董譚 (あんびる やすこ 作) 2冊 岩崎書店 2012年4月
[火事で燃え残ったアールヌーボーの鏡台。風雅たちは、買いとったその鏡台のつくも神に手紙を届けてくれと頼まれる。目的地はマカオ。そこでみつけたお宝とは?]

(音声デイジー図書)

<一般書>

- ① 徳川家康の決断——^{おけはざま}桶狭間から^{せきがほら}関ヶ原、大坂の陣まで10の選択 (本多 ^{ほんだ} 隆成 ^{たかしげ} 著) (13:37)
中央公論新社 2022年10月
[今川・織田の両雄に挟まれ、弱小勢力として出発し、戦国乱世を勝ち抜き、天下を制した徳川家康。^{みかたはら}三方原の合戦、本能寺の変、関ヶ原の合戦、大坂の陣など、家康が迫られた10の選択を軸に波瀾の生涯を描く。]
- ② 肥料争奪戦の時代——希少資源リンの枯渇に脅える世界 (ダン・イーガン 著, ^{あべ}阿部 ^{まさひろ} 将大 訳)
(13:27) 原書房 2023年7月
[肥料として農業を支え、人類に不可欠な元素リン。そのリンは世界的に枯渇し、争奪戦が起きる一方で、海洋や河川に垂れ流され、水質を汚染している。世界が注視するリン問題を、ピューリッツァー賞ファイナリストが迫及する。]
- ③ [シネマ・デイジー] ^{きりん}麒麟の翼——劇場版・新参者
(土井 ^{のぶひろ} 裕泰 監督, ^{ひがしの}東野 ^{けいご} 圭吾 原作, ^{あらがき}阿部 寛, 新垣 結衣 出演) (2:14) TBS
2012年7月
[東京・日本橋の麒麟像の前で男性が刺殺される事件が発生。刑事・加賀恭一郎は、被害者の不可解な行動と背景を追いながら、真犯人と家族の秘密に迫る。事件の鍵は、折り鶴と父の深い愛情にあった。]
- ④ ようやくカナダに行きまして (^{みつうら}光浦 靖子 著) (5:57) 文藝春秋 2024年9月
[2021年7月、カナダに渡った光浦靖子。人生初のホームステイ、語学学校での出会い…。50歳の留学生として、無力を思い知りながらもぬるっと生き抜く毎日を綴る。]

⑤ 日韓の文化対立は宿命である——引き裂かれた言語と、原型の精神分析

(金 容雲 著, 平井 敏晴 編訳) (8:53) 三五館 2012 年 11 月

〔日韓対立の理由は、両国の原型が対立的に形成されたことにある。「原型史観」を用いて、両国の論理・考え方が異質であり、文化の諸相が対立的であることを説明し、その解決策を模索する。〕

<文学書>

⑥ 生殖記 (朝井 リョウ 著) (8:50) 小学館 2024 年 10 月

〔家電メーカーに勤める 尚 成は、社会の「成長し続けることが正しい」という空気に違和感を抱いている。物語は、彼の“生殖本能”の視点から語られ、人間社会を「オス」「メス」「個体」といった生物学的な言葉で見つめ直す。〕

⑦ 俺たちの箱根駅伝 上・下 (池井戸 潤 著) (上 9:24・下 9:01) 文藝春秋 2024 年 4 月

〔2 年連続で箱根駅伝の本選出場を逃した崖っぷちチーム、古豪・明誠学院。4 年生の主将・隼斗にとって、10 月の予選会が最後の挑戦となる。絶対に負けられない戦いが始まる！〕

⑧ 春のとなり (高瀬 乃一 著) (6:50) 角川春樹事務所 2024 年 5 月

〔夫の仇を討つため江戸へやってきた奈緒と、その養父で医者 文二郎。ふたりが深川で営む薬屋に、芸者・捨て丸が惚れ薬を作ってほしいとやってきた。相手は、なんと有名な本草学者で…。〕

⑨ 唐木田探偵社の物理的対応 (似鳥 鶏 著) (13:56) KADOKAWA 2023 年 10 月

〔実体を持った「都市伝説」が人々を襲う。対処方法はただひとつ…物理攻撃だった。怪異駆除の専門業者・唐木田探偵社に入社した〈ネズミ〉は実戦に駆り出される。果たして探偵社の面々は原因を突き止められるのか！？〕

⑩ この世の春 上 (宮部 みゆき 著) (13:40) 新潮社 2017 年 8 月

〔美貌の青年藩主・重興が、突然隠居を強いられるという変事のあった北見藩。重興の押し込められた座敷牢からは、夜な夜な奇怪な声が。亡者たちの叫びか、それとも…。〕

⑪ 消滅世界 (村田 沙耶香 著) (7:04) 河出書房新社 2015 年 12 月

〔「セックス」も「家族」も、世界から消える…。人工授精で子供を産み、無菌の家族をつくる、人間の本能の行方は？日本の未来を予言する物語。2025 年秋映画公開。〕

⑫ きらきら眼鏡 (森沢 明夫 著) (17:28) 双葉社 2018 年 7 月

〔立花明海は、古本に挟まっていた名刺から「大滝あかね」に連絡をとる。会ってみると、あかねは年上の明るい女性で、日常の物事を幸福に捉える「幸せの天才」だった。だが、あかねには、余命宣告を受けている恋人がいて…。〕

- ⑬ 『百年の孤独』を代わりに読む (友田 ^{ともだ} とん 著) (9:56) 早川書房 2024年6月
[ガルシア＝マルケス「百年の孤独」を読者の代わりに読む「私」。ところがすぐに脱線し始める。ドラゴンクエストⅢなど、様々な記憶がマコンドの出来事と混ざり合い、いつしか読むことの正体に近づき…。]
- ⑭ ふいにあなたが舞い降りて (リサ・クレイパス 著, 古川 ^{ふるかわ} ^{ななこ} 奈々子 訳) (14:50) 原書房
2006年2月
[30歳の誕生日を迎える作家アマンダは、記念に「男娼」との初体験を決意。しかし、手配されたのは出版社社長の若き実業家だった。]

3. おすすめ図書の紹介

『怒鳴られ駅員のメンタル非常ボタン 小さな事件は通常運転です』 綿貫 渉 著 KADOKAWA
2022年

“交通系” YouTuber で元鉄道員の著者が、現役の鉄道員時代に勤務駅で目撃した“事件”を駅員の視点でまとめている。読者、すなわち鉄道を利用する客側としては笑ってしまうような“事件”が多いが、駅員さんにしてみれば…である。毎日毎日大変なんだなあと、つくづく感じてしまう。また、鉄道会社の人事や配置、システム等に関することにもちょこちょこ触れられており、“へえ〜”と感心してしまう場面も多い。駅員さんには申し訳ないが、楽しく笑いながら読み進められる本である。著者は、普段は“綿貫 渉 ^{わたぬきわたる} / 交通系 YouTuber” という名で公共交通機関に関する動画を配信しているとのこと。

(M)